

章	資料名	年代	作者	発行所	所蔵先(記載のないものは当館蔵)	前期/後期(記載のないものは通期)
114	5章 『妖怪談義』	昭和32年(1957)	柳田國男	修道社		
115	水虎十式品之図	江戸後期	坂本浩然		国立国会図書館蔵	
116	『画図百鬼夜行』より「河童」	文化2年(1805)	鳥山石燕		国立国会図書館蔵	
117	人魚のミイラ					
118	『百鬼夜行拾遺』より「人魚」	文化2年(1805)	鳥山石燕		国立国会図書館蔵	
119	『百器徒然袋』より「不落々々」	文化2年(1805)	鳥山石燕		国立国会図書館蔵	
120	『百器徒然袋』より「箒神」	文化2年(1805)	鳥山石燕		国立国会図書館蔵	
121	『百器徒然袋』より「蓑草鞋」	文化2年(1805)	鳥山石燕		国立国会図書館蔵	
122	『百器徒然袋』より「骨傘」	文化2年(1805)	鳥山石燕		国立国会図書館蔵	
123	『百器徒然袋』より「瀬戸大将」	文化2年(1805)	鳥山石燕		国立国会図書館蔵	
124	『百器徒然袋』より「鳴釜」	文化2年(1805)	鳥山石燕		国立国会図書館蔵	
125	『百器徒然袋』より「琴古主」	文化2年(1805)	鳥山石燕		国立国会図書館蔵	
126	道外武者 御代の若餅	嘉永2年(1849)	歌川芳虎			
127	諸道具寄合噂はなし	慶応2年(1866)発行 国芳による画は弘化4年(1847)頃の制作	一立斎重正戯画印(画は歌川国芳による)	伊勢屋鉄五郎		
128	十二支見立けうにん尽	明治時代				
129	新板 鼠の戯	明治17年(1884)	歌川国利	長谷川作治郎		
130	人型いろは歌	幕末～明治時代				
131	あら嬉し大安日にゆり直す	安政2年(1855)頃				
132	地震けん	安政2年(1855)頃				
133	世直し鯨の情け	安政2年(1855)頃				
134	金持ちをゆすりにきたか大地しん	安政2年(1855)頃				
135	安政二年十月二日夜大地震鯨問答	安政2年(1855)頃				
136	如是罪障	昭和17年(1942)	野口睡雪			
137	地獄極楽絵	明治37年(1904)		前田善三郎		
138	焙烙饅絵 恵比寿像	大正5年(1916)	吉田亀五郎			
139	七福神 聚福会堂の図	明治時代				
140	七福神 収穫の図	明治時代				
141	ステレオスコープ					
142	ライオン活動写真(幻燈機)					
143	教育必用幻燈振分双六	明治22年(1889)				
144	有ヶ多気御代の蔭絵(こうもり・かたつむり)(ねこ・ねずみ)	明治時代	歌川国利	伊勢辰		
145	新ばん座しきかけ画	明治18年(1885)				
146	児童教育模範画譜 児童遊戯 かげえ、かげやとろうくじ	明治35年(1902)				
147	「少年画報」第21巻・第5号	昭和43年(1968)		少年画報社		
148	「少年画報」第22巻・第4号	昭和44年(1969)		少年画報社		
149	「ぼくら」第14巻・第12号	昭和43年(1968)		講談社		

■ ギャラリートーク (学芸員による展示解説)

会場 : 新宿歴史博物館 地下1階 企画展示室

日時 : 会期中の毎週土曜日 午後1時～(約30分)

料金 : 無料 申込み : 不要



幻想の新宿

一月岡芳年 錦絵で読み解く四谷怪談

Ukiyo-e exhibition "Phantom of Shinjuku"

平成30年6月30日[土]→平成30年8月26日[日]
 前期:6月30日(土)~7月22日(日) 後期:7月24日(火)~8月26日(日)



章	資料名	年代	作者	発行所	所蔵先(記載のないものは当館蔵)	前期/後期(記載のないものは通期)
1章 新宿の伝説・伝承	1 四ツ谷新宿太宗寺	弘化4年(1847)	初代歌川国輝に同じ画(色違い)の作品有り			
	2 さてはえんまの目をとりて…	弘化4年(1847)	歌川芳豊			
	3 正受院 奪衣婆	嘉永2年(1849)	歌川国芳	辻岡屋文助		
	4 奪衣婆と翁稲荷の首引き	嘉永2年(1849)	歌川国芳	玉屋惣助		
	5 正受院奪衣婆、お竹大日如来、翁稲荷	嘉永2年(1849)	歌川国芳	太田屋多吉		
	6 拳独稽古	天保元年(1830)	山桜漣々、逸軒揺舟	鶴屋喜右衛門		
2章 錦絵で読み解く四谷怪談	7 田宮伊右衛門 市川団十郎	文政8年(1825)	歌川国貞(3代目歌川豊国)		パネル部分:早稲田大学坪内博士記念演劇博物館蔵	
	8 四ツ谷怪談物語	明治29年(1896)	香朝楼(3代目歌川国貞)			
	9 於岩 宅悦	江戸時代	歌川国芳			
	10 早替り お岩の霊 尾上菊五郎	明治17年(1884)	豊原国周	福田熊次郎	パネル部分:早稲田大学坪内博士記念演劇博物館蔵	
	11 神谷仁右衛門 お岩	弘化4~嘉永5年(1847~1852)頃	一英斎芳艶	上総屋岩蔵		
	12 東海道四谷怪談 第壱番目七幕目 浄瑠璃 萌思蛭兼言	文久元年(1861)	3代目歌川豊国	湊屋小兵衛		
	13 3代目尾上梅幸 お岩	文政9年(1826)頃	春好斎北洲			
	14 田宮伊右衛門 お岩の霊	明治17年(1884)	楊洲周延	深沢貞次郎	パネル部分:早稲田大学坪内博士記念演劇博物館蔵	
	15 「お岩の亡霊 坂東彦三郎」「民谷伊右衛門 片岡仁左衛門」	文久元年(1861)	3代目歌川豊国	大黒屋平吉		
	16 「お岩のぼうこん 尾上菊五郎」「民谷伊右衛門 市川団十郎」ほか1枚	文政8年(1825)	歌川国安			
	17 南爾前米妙法経	天保元年(1830)	2代目歌川豊国			
	18 「神谷伊右衛門 小仏小平」「神谷伊右衛門 与茂七 お袖」	嘉永元年(1848)	歌川国芳	太田屋多吉		
	19 四ツ谷聞書	嘉永元年(1848)	3代目歌川豊国	辻屋安兵衛		
	20 『今古実録四谷雑談』上・下	明治17年(1884)		栄泉社		
	21 義士姓氏録	明治元年(1868)	月岡芳年			
	22 木曾街道六十九次之内 高宮 神谷伊右衛門	安政5年(1858)	歌川国芳			
	23 木曾街道六十九次之内 追分 おいわ 宅悦	嘉永5年(1852)	歌川国芳		早稲田大学坪内博士記念演劇博物館蔵	
	24 江戸の花名勝会 六番組 於「市ヶ谷」「小仏小平 尾上梅寿」	文久3年(1863)	上:豊年亭都鏡、下(人物):3代目歌川豊国、下(風景):葛飾為斎	加藤清		
	25 江戸の花名勝会 五番組 く「四ツ谷」「四ツ谷於岩稲荷社」「於岩の亡霊 坂東彦三郎」	文久3年(1863)	都遊、3代目歌川豊国、歌川貞秀	加藤清		
26 江戸の花名勝会 五番組 ま「喰違」「赤坂喰違の土橋」「民谷伊右衛門 片岡仁左衛門」	文久3年(1863)	鉄斎、3代目歌川豊国、2代目歌川広重	加藤清			
27 東京名所 四ツ谷佐門町大巖稲荷社内之真図	明治時代	3代目歌川広重				
3章 幻視者・月岡芳年	28 絵葉書「大蘇芳年翁17年祭記念」	明治42年(1909)		烏合会		
	29 新形三十六怪撰 貞信公 夜宮中に怪を懼しむの図	明治22年(1889)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	前期
	30 新形三十六怪撰 大森彦七 道に怪異に逢ふ図	明治22年(1889)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	前期
	31 新形三十六怪撰 清玄の霊 桜姫を慕ふの図	明治22年(1889)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	前期
	32 新形三十六怪撰 鬼若丸 池中に鯉魚を窺ふ図	明治22年(1889)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	前期
	33 新形三十六怪撰 小町桜の精	明治22年(1889)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	前期
	34 新形三十六怪撰 内裏に猪早太 鶴を刺図	明治23年(1890)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	前期
	35 新形三十六怪撰 地獄太夫 悟道の図	明治23年(1890)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	前期

章	資料名	年代	作者	発行所	所蔵先(記載のないものは当館蔵)	前期/後期(記載のないものは通期)	
3章 幻視者・月岡芳年	新形三十六怪撰 平惟茂 戸隠山に悪鬼を退治す図	明治23年(1890)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	前期	
	新形三十六怪撰 藤原秀郷 竜宮城 蜈蚣を射るの図	明治23年(1890)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	前期	
	新形三十六怪撰 葛の葉きつね 童子にわかるゝの図	明治23年(1890)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	前期	
	新形三十六怪撰 仁田忠常 洞中に奇異を見る図	明治23年(1890)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	前期	
	新形三十六怪撰 奈須野原 殺生石之図	明治24年(1891)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	前期	
	新形三十六怪撰 業平 (秋風のふくにつけてもあなめあなめをのとはいはじすゝき生けり)	明治23年(1890)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	前期	
	新形三十六怪撰 蘭丸 蘇鉄之怪ヲ見ル図	明治24年(1891)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	前期	
	新形三十六怪撰 二十四孝 狐火之図	明治25年(1892)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	前期	
	新形三十六怪撰 源頼光 土蜘蛛ヲ切ル図	明治25年(1892)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	前期	
	新形三十六怪撰 節婦の霊 滝に掛る図	明治25年(1892)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	前期	
	新形三十六怪撰 四ツ谷怪談	明治25年(1892)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	前期	
	新形三十六怪撰 さぎむすめ	明治22年(1889)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	後期	
	新形三十六怪撰 武田勝千代 月夜に老狸を撃の図	明治22年(1889)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	後期	
	新形三十六怪撰 老婆鬼 腕を持去る図	明治22年(1889)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	後期	
	新形三十六怪撰 為朝の武威 痘鬼神を退く図	明治23年(1890)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	後期	
	新形三十六怪撰 清姫 日高川に蛇躰と成る図	明治23年(1890)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	後期	
	新形三十六怪撰 蒲生貞秀臣土岐元貞 甲州猪鼻山 魔王投倒図	明治23年(1890)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	後期	
	新形三十六怪撰 鐘馗 夢中捉鬼之図	明治23年(1890)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	後期	
	新形三十六怪撰 藤原実方の執心 雀となるの図	明治23年(1890)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	後期	
	新形三十六怪撰 皿やしき お菊の霊	明治23年(1890)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	後期	
	新形三十六怪撰 布引滝 悪源太義平霊 討難波次郎	明治22年(1889)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	後期	
	新形三十六怪撰 清盛 福原に数百の人頭を見る図	明治23年(1890)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	後期	
	新形三十六怪撰 三井寺 頼豪阿闍梨 悪念鼠と変ずる図	明治24年(1891)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	後期	
	新形三十六怪撰 ほたむとろう(牡丹燈籠)	明治24年(1891)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	後期	
	新形三十六怪撰 小早川隆景 彦山ノ天狗問答之図	明治25年(1892)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	後期	
	新形三十六怪撰 大物の浦二霊 平知盛海上ニ出現之図	明治24年(1891)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	後期	
	新形三十六怪撰 宗祇 (やとるへき水も氷にとぢられて今宵の月は空にこそあり)	明治25年(1892)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	後期	
	新形三十六怪撰 茂林寺の文福茶釜	明治25年(1892)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	後期	
	新形三十六怪撰 おもみつつら	明治25年(1892)	月岡芳年	佐々木豊吉	個人蔵	後期	
	4章 物語から生まれる幻想	和漢百物語 白藤源太	慶応元年(1865)	月岡芳年			
		於吹島之館直之古狸退治図	慶応2年(1866)	月岡芳年	辻岡屋文助		
		太田道灌 初歌道志図	明治20年(1887)	月岡芳年			
		新撰東錦絵 橋本屋白糸之話	明治19年(1886)	月岡芳年			
		「浅倉当吾ノ霊」「尾形長門之助 幻の長吉」「白拍子かつらき」	嘉永4年(1851)	3代目歌川豊国			
		当吾一代記		一英斎芳艶			
		清書七伊呂波 「いざりの仇うち 初はな かつ五郎」	安政3年(1856)	3代目歌川豊国	藤岡屋 慶次郎		
清書七伊呂波 「まさかど 滝夜叉姫 大屋太郎」		安政3年(1856)	3代目歌川豊国	藤岡屋 慶次郎			
江戸の花名勝会 八番組 加 「将門の亡霊」「神田明神の景」「相馬の滝夜叉ひめ 尾上菊五郎」		文久3年(1863)	上:歌川芳虎、右:3代目歌川豊国、左:歌川貞秀	加藤清			
「浮世又平 坂東三津五郎」「かさねぼうこん 尾上菊五郎」		天保3年(1832)	歌川国芳				
江戸の花名勝会 九番組 ね 「氷川下」「犬村大角 市の川市蔵」「巢鴨氷川下猫又橋」		元治元年(1864)	右:3代目歌川豊国				
江戸の花名勝会 一番組 万 「番町」「嵐吉三郎」「番町田安台」	文久3年(1863)	狂齋(河鍋暁斎)、3代目歌川豊国、惺々周雀	加藤清				

章	資料名	年代	作者	発行所	所蔵先(記載のないものは当館蔵)	前期/後期(記載のないものは通期)
4章 物語から生まれる幻想	77 歌舞伎座新狂言 番町皿屋敷 鉄山館の場	明治25年(1892)	3代目歌川国貞			
	78 狂言百種 第六号『新皿屋敷月雨傘』ほか1編	明治25年(1892)	河竹黙阿弥	春陽堂		
	79 安部泰成調伏妖怪図	天保14~弘化4年(1843~47)	3代目歌川豊国			
	80 『殺生石後日の怪談』	文政8年(1825)頃	曲亭馬琴			
	81 『小女郎蜘蛛怨芋環』	明治19年(1886)	曲亭馬琴	村田壽衛三郎		
	82 『姥桜女清玄』	文化7年(1810)	曲亭馬琴 画:勝川春亭	鶴屋喜右衛門		
	83 『南総里見八犬伝』	明治18~19年(1885~1886)	曲亭馬琴	成文社		
	84 『江戸名所図会』巻之一 鶴屋喜右衛門の店先	天保5年(1834)				
	85 『北斎漫画』三編	明治11年(1878)	葛飾北斎	片野東四郎		
	86 『北斎漫画』六編	明治11年(1878)	葛飾北斎	片野東四郎		
	87 『北斎漫画』九編	明治11年(1878)	葛飾北斎	片野東四郎		
	88 『真景累ヶ淵』が「やまと新聞」に掲載されるにあたり、月岡芳年が描いた広告		月岡芳年		国立国会図書館蔵	
	89 誉廊三升伊達染 「絹川谷蔵」「三ふ妹かさね」	嘉永6年(1853)	3代目歌川豊国			
	90 誉廊三升伊達染 「絹川与右衛門」「与右衛門女房累」	嘉永6年(1853)	3代目歌川豊国			
91 『怪談牡丹燈籠』	明治19年(1886)	三遊亭円朝 (筆記者若林かん蔵)	文事堂			
92 『怪談 牡丹燈籠』復刻版	明治17年(1884) ※復刻版は昭和43年(1968)刊	三遊亭円朝	東京神史出版社 ※日本近代文学館による復刻			
93 『怪談乳房榎』	明治26年(1893)	三遊亭円朝 原著[他]	国立国会図書館蔵			
5章 それからどうなる? 新宿ゆかりの文学者によるこわい話	94 『猫を描いた少年』 The Boy Who Drew Cats	明治31年(1898)	小泉八雲			
	95 『化け蜘蛛』 The Goblin Spider	明治32年(1899)	小泉八雲			
	96 『団子をなくしたお婆さん』 The Old Woman Who Lost Her Dumplings	明治35年(1902)	小泉八雲			
	97 『ちんちん小袴』 Chin Chin Kobakama	明治36年(1903)	小泉八雲			
	98 『若返りの泉』 The Fountain of Youth	大正11年(1922)	小泉八雲			
	99 『Kwaidan (怪談)』	明治37年(1904)	小泉八雲	Houghton,Mifflin		
	100 『Kwaidan (怪談)』	明治7年(1932)	小泉八雲	審美書院		
	101 『KOKORO (心)』草稿		小泉八雲			
	102 『SOME CHINESE GHOSTS (中国怪談集)』	明治20年(1887)刊 ※復刻版は昭和57年(1982)刊	小泉八雲	John William and Son ※雄松堂による復刻		
	103 『KOKORO (心)』	明治29年(1896)	小泉八雲	Houghton,Mifflin		
	104 『KOTTO (骨董)』	明治35年(1902)刊 ※復刻版は昭和57年(1982)刊	小泉八雲	Macmillan ※雄松堂による復刻		
	105 ヘンリー・ワトキン宛書簡断簡	明治11年(1878)	小泉八雲			
	106 『漾虚集』	明治41年(1908) 第4版(初版は明治39年)	夏目漱石	大倉書店 服部書店		
	107 『漾虚集』	明治39年(1906) ※復刻版は昭和43年(1968)刊	夏目漱石	大倉書店、服部書店 ※日本近代文学館による復刻		
108 『夢十夜』	大正8年(1919) 第5版(初版は大正4年)	夏目漱石	春陽堂			
109 『高野聖』	明治41年(1908) ※復刻版は昭和43年(1968)刊	泉鏡花	左久良書房 ※日本近代文学館による復刻			
110 『国貞描く』	大正元年(1912)	泉鏡花	春陽堂			
111 『日本橋』	大正3年(1914) ※復刻版は昭和56年(1981)刊	泉鏡花	千章館 ※日本近代文学館による復刻			
112 短歌短冊		泉鏡花				
113 『遠野物語』	明治43年(1910) ※日本近代文学館による復刻は昭和43年(1968)	柳田國男	聚精堂			